

# 11月1日に記念式典を予定

## 記念グッズなどでPR

本町では、「分村・開町」から1世紀が経過する大きな節目ということから、本年度、記念事業を行います。

記念事業は、昨年10月に広報折込みやホームページでアイデアを募集したほか、12月に町民各層による記念事業実行委員会が組織され、事業を決定しました。

また、「開町100周年・町制施行70年」のロゴマークを作成、これを活用した広告塔、懸垂幕、のぼり旗、ポケットティッシュを作りました。

4月に開催予定だったNHK公開録音「真打ち競演」と6月開催予定の「町民オリンピック」、さらに「町民芸術劇場」は中止となりましたが、平成8年に埋設したタイムカプセルの開封、記念式典は実施する予定で調整しています。

また、「続訓子府町史」を平成10年に発行してから、20年以上が経過し、近い将来に新たな町史を編さん・発刊するための資料など収集をスタートさせているほか、編さん委員会を設置します。

さらに本年度中に「くねっぶ再発見物語 くんネップから訓子府へ」の冊子を発刊し、全戸に配布します。

ロゴマークを活用したポケットティッシュ



タイムカプセル



### 【ロゴマークの意味】

訓子府町は、置戸町から「分村」しましたが、両町では現在も交流が続き、互いに笑顔でがんばっている現状と、訓子府町は町制施行70年を迎えたことを表現しています。

## 昔の資料、写真などの情報をお知らせください

町総務課では、訓子府町の歴史的資料や写真、家族から聞いた「昔の話」などさまざまな情報を収集しています。

町民の皆さんのご協力で、さまざまな情報をお寄せください。

例えば、

- 大正9年の「分村」当時の街並みや生活風景、農作業風景などの写真
  - 分村した喜びの声や祭りなどのイベントなど、町の歴史を物語る家族から聞いた「昔の話」
  - 昭和26年の町制施行のときの商店のチラシや新聞記事
  - 平成時代の町の動きが分かる写真・資料
- など産業・教育・福祉・生活環境・自然などさまざまな分野に関するものなどです。  
役場総務課庶務係にご連絡ください。資料などをお借りする対応について調整させていただきます。

■問合せ 総務課庶務係 (☎ 47-2112 役場2階 窓口10番)

# 訓子府町開町100周年 町制施行70周年



訓子府町は、大正9(1920)年に置戸村から分離独立し「訓子府村」として誕生しました。この分村を訓子府の「開町」とし、本年度は「開町100周年」、昭和26(1951)年に町制施行してから70年を迎えました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部記念事業が中止となりましたが、11月1日の記念式典などの事業は行う予定で調整しています。

## 大正9年 訓子府村誕生

明治30年に13戸の北光社移民団が開拓の躰を入れました。開拓直後、訓子府は野付牛村(現北見市)に属し、大正4年には、野付牛村から分村した置戸村に属しました。

大正9年5月5日に北海道庁が置戸村を分割し「二級町村訓子府村」を置く告示を行い、6月1日に訓子府村が誕生しました。苦難の開拓から23年が経過し、開拓者ら多くの住民の宿願がかなった年です。

当時の村勢は1,146戸、人口6,592人、予算総額は歳入歳出ともに3万7,246円でした。初代村長には、野付牛町の上席書記、山崎亮智氏が任命されました。

## 昭和26年に町制施行

明治の「開拓」、大正の「分村」、昭和の「町制施行」(昭和26年)と着実に発展し、本年70年目を迎えることになりました。町制施行時の町長は、村政2期目の谷本泰三郎氏でした。

## 50年ぶりの「開町」記念行事

明治30年の入植を町の「開基」、また、町制施行それぞれ10年ごとに記念式典などで町の誕生を祝ってきました。

一方「分村・開町」の「独立記念日」を祝う周年行事は、昭和25年6月15日に「訓子府村開村30周年記念式典」が行われ、同17日までの3日間、多彩な祝賀行事が盛大に開催されました。

さらに昭和45年10月4日に「開町50周年・町制施行20年・共同利用模範牧場竣工記念式典」が行われました。



開町50周年記念式典